

大鹿草 おしか 小説家、詩人、歌人。明治二十一年八月、二十五日愛知縣生れ、昭和二十四年二月一日歿（一九六一—一九五九）。本名秀二。大正十一年秋田鑛山専門學校卒業後、京都帝國大學經濟學部入學も同年中退。翌五年府立第八高等女學校教員。十一年實兄金子光晴等と詩誌『風鳥』を創り、翌五年『抒情詩』發刊。昭和十一年佐藤春夫の師事、翌五年『文藝白本』編輯同人。

著書、詩集『兵隊』（大正十五年八月二十五日文藝社）、『潜水夫』

（昭和十一年六月一日新潮社）『新選純文學叢書』（『火藥』（昭和

十一年九月）『白版曲莊』（版曲莊文庫）、『金山』（昭和十四年七

月十七日春陽堂書店）『生活文學選集』（『都塵』（昭和十五年十

月十五日河出書房）『短篇集叢書』（『渡良瀨川』（昭和十六年四月

八日中央公論社）『新作長篇叢書』（『神樂歌』（昭和十六年十一月

二十五日小學館）、『こころの戀』（昭

和二十一年十月十日溪書房）、『渡良

瀨川』（決定版）』（昭和二十二年六月

二十五日大日本雄辯會講談社）、『梅

花（兩枝）』（昭和二十二年十一月五日

洗心書林）、『野蠻人』（昭和二十年

一月十五日元々社）『民族教養新書』（『強く生きろ日本の女性』（昭

和二十二年二月十日三笠書房）『二重新書』（『谷

中村事件』（昭和二十二年九月二十五日大日本雄

辯會講談社）、『歌集』（松の實）』（昭和二十八年二

月二十一日白土書房）等。



松の實 大鹿卓歌集